



大野やすし市政報告



〒343-0806 越谷市宮本町 1-94-3 電話/FAX 048-940-0155

携帯 080-3300-8100 [アドレス y.ohno2335@themis.ocn.ne.jp](mailto:y.ohno2335@themis.ocn.ne.jp)

11/7~9 越ヶ谷ぐるぐるグルメ！

私のFB、ツイッター、アメブロ、HPあります。友達申請してください。

市議会のHPで様子が、映像で確認できます。



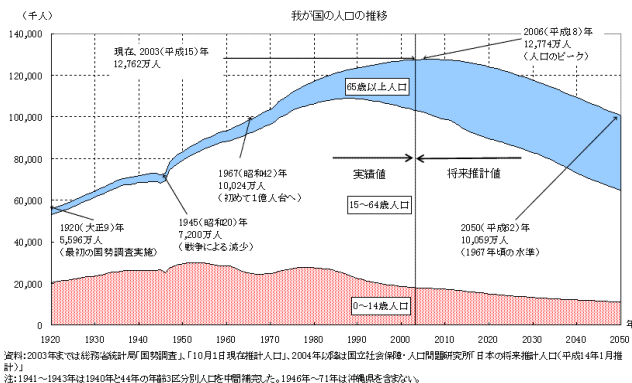
10/2 越小生による蔵の曳家

9/1~24 まで行われた越谷市9月定例会は、市長提出議案 36 件、議員提出議案 1 件、請願 6 件などが審議されました。

私は、一般質問を行うとともに決算特別委員会の委員として決算審査に参加しました。一般質問では、①人口減少社会における越谷市の今後の取組について②危機管理対応の現状と取組について、市長に見解を問いました。

概要と私の見解は以下のとおりです。市民のみなさんが感じる、市政についてのご意見・ご要望、遠慮なく、私にお聞かせください。

1 人口減少社会における越谷市の今後の取組について



日本は 2008 年から人口が減少し始め、人口減少社会に突入しました。このままでは 2048 年には 1 億人を割ると推計され、政府は 2060 年時点で 1 億人を維持するという目標を立てました。その目標の達成には、今の 10 代が出産適齢期になった時に安心して子ども 3 人以上産み育てられる環境づくりが必須です。しかし、国も自治体も、まだまだ取組は不十分です。

越谷市では、9 年後の 2023 年 (平成 35 年) までは人口増が続くと推計されていますが、私は、東京圏の都市間競争に勝ち残っていくためには、現在策定中の総合振興計画後期計画 (期間: 平成 28~32 年度) のなかで、積極的に人口減少対策に取り組むべきと考えています。

人口減少対策のうちでも、特に保育所整備など子育て施策と共働き時代における雇用就業環境の整備が重要であり、①子ども・子育て支援事業計画の検討状況②越谷市における業務商業機能及び雇用就業環境の整備について質問しました。

① については、来年度に向け、保育園空白地域の北越谷駅高架下など 4 か所で整備中であり、定員 350 人増の予定とのことでした。

② については、首都圏の優位性を活かして、県とも連携し、企業誘致も含め、商業・業務地の形成や流通・工業系土地利用の推進に取り組んでいくとのことでした。

人口減少の観点から、越谷市政に注目し、引き続き対策に取り組んでいきます。

2 危機管理対策の現状と取組について

(1)集中豪雨及び治水対策



10/6 台風 18 号出羽掘り
での土のう積み

台風シーズンを前に、昨年 10 月 15、16 日の台風 26 号によって市内浸水 600 棟など大きな被害を被ったその後の越谷市の集中豪雨対策及び治水対策について質問。

市ではポンプの点検に努めるほか、パトロール班を 6 班から 12 班体制に増強するとともに、浸水実績地域の出羽掘りでは護岸かさ上げの補正予算を計上すると答弁。

9 月補正では護岸かさ上げの予算も可決されるとともに、10 月 5、6 日の台風 18 号の浸水危機に対しては、私も車の移動の声掛けや土のうの要請など現地対応している最中、大勢の市職員と業者のみなさんが駆けつけてくれて、出羽掘りへの土のうの積み上げなど、緊急対応してくれました。速やかな行動、ありがとうございました。

(2) オレオレ詐欺など、弱者を狙う犯罪に対する防犯対策



敬老会でのポスター掲示

いわゆるオレオレ詐欺は高齢者など寂しい弱者を狙うものであり許せません。それらの詐欺は、手口の変化から、『振り込め詐欺』、今では「受子（うけこ）」と呼ばれる人物が直接受け取りに来るところから『手渡し詐欺』とも呼ばれています。その特徴は、短時間に複数の人物から電話があり、被害者に架空の状況を信じ込ませてしまうところにあります。市内の被害額は 8 月末で昨年の数倍超の 2 億 3 千万円にも達しています。

このため、市に対して 9 月 14、15 日の敬老会での告知やポスター掲示などの注意喚起を提案したところ、早速、実施してもらいました。ありがとうございました。

(3) 救急搬送における軽症者対策ほか、消防関係



救急車



はしご車

・救急搬送に占める軽症者の割合が相変わらず 5 割を超えているところから、23 年 9 月から提案しているコールセンターの設置を確認したところ、10 月から埼玉県が『大人の救急電話相談#7000』（18 時半～22 時半）をスタートさせたとのことです。

・今年度から 1 隊増隊され 8 隊となった越谷消防の救急隊の効果については、119 番があった時、全隊出場している回数が 56 回から 23 回に半減したとのことです。

・27 年 4 月の中核市移行に伴い設置される高度救助隊は、画像探索機、地中音響探知機など様々な高度な機器を活用して人命救助の充実が見込まれます。

・建替え予定の谷中分署については消防団の放水訓練や地元自治会の消防訓練など市民参加による地域防災力向上にも役立つよう整備するとのことです。

大野やすしの 3 つの主張

「マイ・ホームタウン越谷」の実現に向けて

- 誇りを持てるまち越谷を築く
- しぶとい日本人の再生を目指す
- 簡素で効率的な行政体制を創りあげる

経験から取組む 5 施策

- 1 子ども・教育施策の推進
- 2 まちづくり・経済産業施策の展開
- 3 危機管理施策の強化
- 4 観光を通じた伝統・文化の活性化
- 5 行財政改革の徹底

経歴

S38 宮本町生まれ、越ヶ谷小、中央中、越ヶ谷高、明治大学政経学部卒
S62～H23 東京都職員（建設、行革、防災等）、元越ヶ谷高校同窓会副会長
H23.4 越谷市議初当選

家族

父、母、妻、3 男 1 女の 8 人家族